

# 林檎

## 岩手Mac友の会

Vol.5, No.1 1993.2.20

Iwate Macintosh Funclub

### アップルの新製品が続々登場!



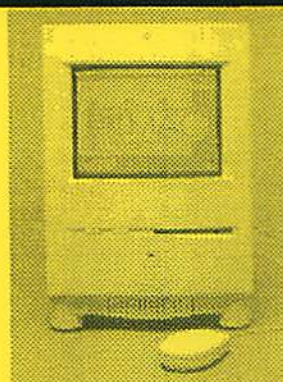
#### 革新的なキーボード

2月9日に発表された新製品のうちで、最も印象に残ったのはこのキーボードでした。これは先月サンフランシスコで開催されたMACWORLD Expo で初めて登場したものです。

似たような形では、日本の TRON キーボードがありますが、アップルのこのキーボードはアジャスタブルという名の示すとおり、角度が自由に変えられることです。

マッキントッシュは、以前から身障者のために Easy Access がシステムに標準で付いているなど、利用者の立場に立った製品造りをしてきている感じがしていましたが、このキーボードは長くキー操作をする人には朗報となるでしょう。

また、同時に操作性を向上した新しいマウスも登場した。このマウスはボールが指先方向にあるので、今まで、手のひらで操作していたような感覚が指先へと移り、一段と操作感が増した。さらに指先を無理に曲げずにボタンを操作できるのも嬉しい。



#### Color Classic

ファン待望のオールインワンタイプのマッキントッシュにカラーのモデルが登場しました。価格も4MB/80MHDモデルで23万8千円と低価格です。

しかも画面は10インチのトリニロン・ディスプレイに512×384ピクセルを表示、標準で256色カラーを実現しています。ディスプレイが大きくなったことで今までの一体型マックのデザインから大きく変革した形状は、賛否の別れるところでしょうか?

しかし、メモリーの増設などでマザーボードを取り出すのが簡単になったことと、拡張ボードが利用できるようになった点は評価できます。

このほか、68040CPUを搭載した、ハイ・パフォーマンスモデルも登場し、また購入を考えている人達を困惑させることになりました。

### 祝! 「林檎」5年目

皆さんに「林檎」をお届けしてから、早いものでこの号で5年目に突入いたしました。これも一重に徳富編集長と編集委員の献身的な努力の賜と感謝いたしております。

また、今年4月からはIMFの活動も6年目に入ることになります。そろそろ運営体制を含めた改革を検討する時期に来ていると思いますので、総会でご意見を伺えることを楽しみにしています。



#### Inside

「林檎」5周年に寄せて	2
「林檎」5周年特集	3
山の花	4
英文コラム	5
私のMaclife (佐藤 学)	6
私のMaclife (近藤英一)	8
林檎ギャラリー	10
編集後記	11
会員名簿	11
掲示板	12

# 「林檎」 5周年に寄せて

アップルコンピュータ株式会社  
サービス&サポート部  
部長 関根康紀



弊社のUGサポートが開始される以前に貴グループはすでに発足していた、とお聞きしています。そのころのメンバーの皆さんはすでにベテランユーザであり、またUG活動の中核となって活躍していらっしゃることでしょう。また、ユーザ層の拡大を反映して新しくUGに参加されるユーザもいらっしゃると思います。今日までに積み重ねてこられた様々なノウハウを活かし、初心者はもちろんベテランユーザにとっても最良のパートナーであることを願っています。今後の皆さんのご活躍をお祈りすると共に、こうした皆さんの努力に感謝いたします。

最後になりましたが、弊社の今後の方針につきまして一言付け加えさせていただきます。

弊社にはMacintoshという素晴らしい財産があります。しかし、この財産だけにこだわってユーザを満足させることはできない、と考えています。そのため1990年代に入ってから、多くの機種を発表するようになりました。さらに、今後はこうした多方面への展開をより一層充実させていく予定ですので、IMFさんの今まで以上のご支援をお願いいたします。

岩手Mac友の会の皆さん、こんにちは。貴グループの会報が発行5周年を迎えられたことを大変嬉しく思います。また、日頃は幅広いUG活動を展開していただきまして、誠にありがとうございます。

おかげさまで、Macintoshは日本国内でのシェアを急速に拡大しつつあります。昨秋には、より充実した製品のラインアップを目指してMacintosh Duoを初めとした新製品を、さらに画期的なOSである漢字Talk 7 Release 7.1を発表いたしました。また、サードパーティ各社からソフトウェアおよびハードウェアの広範囲にわたる製品が提供されるようになり、使用環境にもより一層の充実が見られました。こうした背景のもと、徐々にMacintoshの文化が日本でも花開いてきたのではないのでしょうか。

1984年にMacintoshが誕生してから、その発展にUGは大きな貢献をしてきたと思います。それはUGが、初心者の方が気軽に質問をしたり、ベテランユーザが技術的な質問の答えを得たり、あるいはコンピュータのより素晴らしい使い方を学び合う場であったためではないでしょうか。



IMMUNE  
Apple User Group in Japan

Edited by



# ワイワイ ああ猥々の夜は更けて

—林檎5周年突入記念座談会から—

  
by 徳富巨

去る1月22日の例会の後、会場を南大通りの「見聞録」に移して、6:15~9:00まで「林檎5周年突入記念座談会」が設けられました。話題山出で大変変化になりましたが、その取り留めのない楽しさをかいつまんでご紹介致します。

出席者 (敬称略)

野村、斉藤、小松、遠山、佐藤、佐々木、  
福田、鱒沢佐藤、徳富

●徳富、お蔭様で林檎がよいよ5年目に入るわけですが、前号、うっかりすると原稿が足りなくてページが埋まらなくなるところだったんですよ。

●野村、マスターの日付が間違っていたのを治さないでしまったんです。あはは、Appleの関根部長から励ましのメッセージをもらえることになりました。武内社長のポートレート付きで来そうです。

原稿に関しては新入会員が、自分の自己紹介が書けるだけのマニュアルを作って、自己紹介を書くことを新入会員のノルマにするのはどうかなあ？

●佐々木、小松さんがFileMakerを使って会計をやりたいって言ってましたけど、そういうのを皆でわいわいやって、4ページくらいやってしまったらいいんじゃないかな。

●野村、ピキナー分科会ができていいんですが、本来はそれを例会でやっていたわけで、今はこれでいいのかなと思っていますけど、

●徳富、例会では、初心者か何を聞いていいのか解からないということがあるんですか？

●佐々木、でもそれを聞いてもらえれば、それにみんなで答えていけるのだから、

●斉藤、会場にアンケート用紙を置いておいて匿名で、聞きたい事を書いてもらったらどうでしょうねえ。

●野村、ロジャーさん、7月で県庁の契約が切れるので、その後の就職先を探しているので、うっかりすると盛岡からいなくな

るんですよ。印刷会社なんかどうだろうなあと思っているけど、就職見つからないといなくなっちゃう。奥さんは、日本人みたいなお顔してますね。

●徳富、今東京の荒木さんから電話が入って、カット集が欲しいとのこと。よくここがわかったなあ。



座談会の面々

●野村、最近例会の時、会場の鍵を開けに行くのに間に合う自信がないなあ。

●杉村、今度岩手大学がOKになったそうですよ。

●野村、責任者に挨拶に行かないと。

●佐々木、テーマを毎回決めていくのがいいんじゃないですか。取敢ず、さっきのやつでいきませんか？あそうだ、総会の会場がまだ決まっていなかった。

●小松、キャバレーでやろうか、あはは。

●佐々木、平安閣はどうかなあ。

●野村、白石さん商工会議所に顔効かないかなあ。

●杉村、今日初めてきた飯塚さんは、いろいろ書いているって言ってました。初めて買ったソフトがPhotoShopだったそうですよ。

●野村、斉藤さんの文才を生かしたいなあ

●佐々木、茶房に釣の事を書いて欲しいなあ。

●佐藤、遠山さんも岩手山に色々なところから登ったそうだよ。

●野村、それを書いてもらおう。

●遠山、それマックに関係ないですよ。

●徳富、茶房はマックに関係ない事を書いてもらうコーナーだからそれでいいんですよ。

●野村、トイレの換気扇のスイッチを斉藤さんに回路を作ってもらったんだけど、メールでやりとりやったんですよ。

●福田、熱感センサーがあって、温度分布が変わった時にスイッチが入る。そのトイレ用もあるから資料上げますよ。

●斉藤、熱感スイッチの場合は、用をたす時間があまり長いと途中で切れちゃうこともあるそうですよ。

●野村、世話人会って、遠業種交流会という雰囲気があるといいですね。

●杉村、では、今日これから、松園の人に、プリンダリボンを届けて上げることになっていますので、お先します。

●佐藤、もう5年もたったでしょうか。

●野村、そういえば、言い出したのは香城さんでしたね。

●佐々木、荒木さんじゃなかったですか。

●野村、ええ、それを荒木さんに振ったのは私です。

●佐藤、学校週5日制は、そのうちもっと増えるんですか？

●佐々木、そうらしいです。

●野村、誠びゆく思考力という本があって、それによると如何に親とのやり取りが子どもの思考力に影響があるかということを書いたもので、随分考えさせられました。一生縦線を認識出来ない猫を作れるそうですよ。縦線を認識する学習をする時期にそれをやらないといいんだそうです。afterとbeforeの関係とか、falf and moreの認識とか、色々センセーショナルな本でした。

●徳富、是非そのうち茶房にエッセンスをまとめて書いて下さい。お酒なしなのでそろそろ会場を出ないとお店に悪いですから、皆さん、また宜しく願いいたします。今日は遅くまで有難うございました。

7月頃、山へ行くと登山口あたりでハクサンイチゲをよく見かけます。色は紅紫色ですが濃淡の変化が多く、それぞれの濃さの花の色に美しさを感じます。山の野生の蘭は一般に地味なので、ハクサンチドリが高山の蘭のなかで最も美しいと言われていました。

しばらく前に秋田駒ヶ岳の八合目の駐車場あたりで、娘と孫を連れた初老のおばちゃんがこのハクサンイチゲを

# 山の花

佐藤護人

切り取ったのを監視員に見つかり、厳重に注意されていました。私がたまたまハクサンイチゲの写真を撮っていたので、監視員が「あのように写真に

撮って高山植物を大切にしている人もいるのですよ」と言っていたのを思い出します。

美しい高山植物を100年後でも楽しむようにしなければなりません。そのために早池峰の小田越への車の乗り入れを中止するのは良いことなのでしょうが、気軽にヒメコザクラやハヤチネウスユキソウの写真を撮りに行けなくなるなど、少し悩んでいます。



ハクサンイチゲ

# Utilities to Warm Up System 7.1

生英語ページ

By Roger Gilbert  
(ギルちゃん)

Everyone probably has an interesting story from the Morioka-Shizukuishi Alpine World Ski Championships. My story is that I met Mr. Alberto Tomba, the Italian skier who has won several gold medals at the Olympics and in World Cup skiing. Mr. Tomba was unshaven and looked very lonely eating his donut by himself at Mister Donuts on Odori one morning during the Championships. I didn't know who he was, but he looked foreign and very lonely. So I said, "hi." He didn't speak English. "English no," was about all he said in English. But he did tell me he was Alberto Tomba several times in Italian. I can't speak Italian. And he was unshaven, so I didn't think he could be the real Tomba I'd read about in the newspapers. So I said, "Oh?" not really believing him. Our conversation was short, he seemed to have gotten upset that I didn't understand him.

A few nights later I saw an interview of the real Tomba on NHK News on TV. Sure enough, it was the same guy. He was surrounded by reporters and fans. Mister Donuts で彼に会ったとき、私はなんて大きい失敗しましたね!

Wow, if I had known he was the real Tomba when I met him at Mr. Donuts I would have tried my best Italian!

Well, as you know, all of Morioka and most of Iwate was pretty excited about the Championships

coming here. A lot of work went into preparation and everyone looked forward to the skiers and the races. But unfortunately, Shizukuishi has predicably unpredictable weather and the winds spoiled some of the races.

You know, Apple Computer is a little bit like Shizukuishi to me. And perhaps KanjiTalk System 7.1 is a little like the 1993 Alpine World Ski Championships. Why?



First, overall System 7.1 is well-planned and well-prepared. So I can't complain. You know during the New Year, my screen started up with 明けましておめでとうございます! That was a nice touch. A little like the Opening Ceremony of the Alpine Championships here in Morioka—it was well done. But then when you get to racing, and you need to get something done, sometimes a chilly wind blows in from Apple and spoils the race. (Like a chilly wind) you suddenly need more memory! Brrrrrrr. Or for example, I needed to work with many fonts one day recently.

This new Font Folder in the System Folder is not perfect if you want to load and unload a lot of fonts. Using Suitcase II in System 6.x was much more convenient.

So I struggled with it. At first I ended up with a lot of printer download font files in my System Folder.

**Here's a tip** I discovered: If you have Postscript fonts, in System 7.1 you are supposed to put your screen fonts in the Font Folder and the Download Font files in the main System Folder. But, you can actually put both types of font files in the Font Folder if you use Suitcase II vers. 2.1.2 or later. If you don't use Suitcase II and you use several fonts, the main System Folder can become really messy. I'll show you how it works when I come to the next Mac meeting.

Alright, back to the race course. Kanji System 7.1 may seem really nice to you, especially with aliases. But navigating through folders to find your applications or files or favorite aliases for files can be as troublesome as going down the slalom course.

**Here's a tip:** One really good utility package is called OnCue II. This worthwhile utility provides a lot of great functions. You can put all your favorite applications on an easy to make and adjust pull down menu. And, you can attach files to the application list if you want. It's like getting rid of the slalom poles. If you want to get somewhere fast on your hard disk, you should look at OnCue II. It'll get you to the finish line fast.



# 私の

# Mac Life

by 佐藤 学



Q あなたはMacを何で知りましたか？次の中から選んで下さい。

- 1、新聞雑誌
- 2、テレビラジオ
- 3、口込み
- 4、行商
- 5、その他

A あれは確か私が就職して2年目のことだったと思うんですが…。だから、1988年ですか。その辺はあやふやなんです、あ、私、小学校で先生やってまして、当時宮守村の宮守小学校に勤務してたんですが、そこに、木津屋の杉村さんがいらして…。何しに来たのかと思ったら、コンピューターを売りにきたんですね。そのコンピューターがMac Plusだったんです。今思うと、全然覚えてないんですね。だから、コンピューターとかあんまり興味なかったんですね。もちろん、Macもアップルも知りませんでした。あ、それから、車が買えるくらいの値段だったんですね。で、「お安くならまして…」って言われたもんで、びっくりしたのを覚えています。それでそのことを友人に話したら、「買う」と言って買ってしまったので、またまたびっくりしてしまいました。

というわけで、答えは、4の行商、で知ったことになりますね。



というわけでMacというコンピューターがあることを知ったのですが、とても高価で、必要性も感じられずMacを手に入れようなどとは思いませんでした。ただ、Plusを購入した友人に使わせてもらっているうちに、「これ、けっこう面白いなあ」と思うようになり、また、アップル社の成り立ちや、ジョブスの話等を本で読むようになり(これも友人の影響)、機会があったら自分でも使ってみたいなあと思うようになっていました。

でも、一番感動したのは、ウインドウが開いたり閉じたりしたこと、マウスで動くことでした。今でも、ウインドウを開いたり閉じたりしてるだけで十分楽しいです。



さて、小学校ってどんなところかご存知ですか。現在私が努めている学校は、全校児童114名の小さな学校で、職員は総勢12名です。

朝、8時15分。私の学校の出勤時刻です。しかし、子供達は8時には学校について遊んだりしています。しかも8時10分には、朝の放送が鳴って教室に入っているのです(ちなみに私はこの朝の放送を聞いてから家を出て、出勤時刻にぎりぎり間に合うという毎日

です)。大抵の先生はこの8時10分前後に出勤し、出勤簿に捺印します。

8時15分から職員打ち合わせがあり、文字通り1日の業務？について打ち合わせをします。学校によっては週に1回とか、1日おきとかさまざまです。朝行なわず、2時間目後というところもあるようです。

この間、子供達は教室でそれぞれの学級での申し合わせによって生活しています。ちなみに私の学級(4年生名19名)では、係の活動(大抵点検活動)をして、1日のめあてを決めて、先生が来るまで何をしてるか日直が決めてみんなでそれをしてるという毎日です。大抵の学校では、朝自習とか朝学習とかいってドリルをやらせたりしていますね。

打ち合わせが終わると先生達はそれぞれの担任の学級へ行って朝の会を行ないます。朝の会では、健康観察といって、子供達の健康状態をチェックしたり、1日の予定について連絡したりします。この朝の会が楽しい学級(先生)はいい学級(先生)です(と私は思っています)。さらに言うなら、朝の会が子供達の司会で活発に運営されている学級は子供達が主体的に生活している学級といえます(それは職員朝会も同じ)。私の学級では、朝の会の司会は希望者です(やってみたいと思わせる朝の会を研究中です)。

そしてすぐ1時間目が始まります。小学校の1単位時間は45分で全国共通です。しかし、実際は授業の進み具合や子供達の状態、学校行事等によって柔軟的に運用されています(この辺は程度の問題なんですよ)。最近、(特に若い先生が)何が何でもきっちり45分、言われたとおり決まったりおもしろいとして困った事態がおきているようですよ(想像できます?)。

授業は大抵、一斉授業と言われていたもので、先生が質問して、子供が答えて、新しい法則や問題の解き方を学習していきます。大抵子供用に課題(めあて)が設定され、子供達はこの課題に取り組み、解決方法を、話し合い

や既習事項をもとに探していきます。理想としては、子供達が試行錯誤を繰り返していくうちに法則や重要事項に気づいていく、というところなんです。が、指導すべき内容が多くてついつい教授形式になってしまうんですね。

さて、2時間目が終わると、業間活動というのが待っています。授業と授業の間の活動なのでこの名がついています。私の学校では、月曜は全校朝会火曜は音楽集会、水金は体育的活動で、夏はマラソン、冬はなわとび行なっています。実は私はこの体育的活動の担当です。これが15分間。そしてやっと休み時間15分間。この業間後の15分休みが、担任の休憩時間(1回目)にわりあてられています。この時間私は珈琲の香りに誘われ職員室で一服します(煙草は吸わないので珈琲で一服)。余裕があれば子供達の日記に赤ペンを入れています。ほかの先生は一服したり、ノートに赤ペン入れたり、授業の準備をしたりしながら、でもしっかり一服しています。

大抵の学校ではこんな余裕はなく、子供の指導に追われたり、書類の作成(これが結構多い!)に追われたりして、休むひまもないようです。朝以外は職員室にこないという学校もあるようですが、これは、職場の人間関係もあるんですね。

さあ4時間目が終わると、(私も子供も)待ちに待った給食です。実はこの給食時間から給食後の休み時間までは、担任の休憩時間に割り当てられている(ちゃんと届け出もしてある!)のですが、給食指導があつて実際は休憩してません。私の学校は村の給食センターから配られる給食です。ほかの先生に聞くと、「やっぱり自校給食がいいね」ということですが、「遠くの給食よりはずっといいよ」ということです(私もその点は大いに賛成!).

給食の時間は準備も含めて30分。食べる時間は実質15分。最近特に短いなあと感じる15分ですが、速い子は、その間に全部食べておかわりして、それでも時間があまってさわりだりしてい

ます。遅い子は、ごちそうさま、をしてからあわてて食べてます。

給食後休み時間15分。その後掃除になります。私の学校では縦割り班といって、1年から6年生までの子供で構成された班で掃除をしています。6年生のいうことをよく聞いて下級生は掃除を覚えていきます。この6年生の班長がけっこう下級生に頼られていて、上級生意識を持たせているようです。この縦割り班は1年間同じメンバーで、児童会の行事なども同じ班で活動します。

5時間目が終わったら、帰りの会です。1日の生活のまとめをし、明日の連絡などをします。帰りの会が充実している学級はいい学級です(と思います)。

さよならをしたあと、諸帳簿に記入し学習のまとめや記録を整理し、明日の準備をしたいところですが、実際そんな時間はありません。子供達とさよならするのが3時ころ。それから退庁時刻の5時まで2時間。大抵は提出書類の作成と子供達のノートなど記録の整理に追われます。



と、いうわけで、今のところ職場でMacを使う時間(空間も)はほとんどありません。LCを買ってすぐ教室に持ち込みました。教室にあるとついつい使ってしまうのでダメですね。もっと使いたくて、たいした仕事でなくてもなんとかMacでやろうとしたり、すぐに2台目が欲しくなってしまう、ほんとにハマッてしまった感じです。子供達にも使わせてみたら、おおむね好評でした(大好評でなくて実はほっとしています。やっぱり子供達には友達と元氣いっぱい遊んで欲しいですから)。

特にKidPixは好評で、休み時間は順番待ちでした。職員室にも持ち込みましたが、絵もかけるというので「いいなあ」という先生が多かったです。特に昔Basicをいじったことのある先生は「う〜ん」とうなっていました。その先生はMacのことを「キットカット」と呼んでいます。

中学校(村の)にはすでに富士通のFMが入っています(教育センターも富士通だし、「結局そういうことなのか」て感じます)。小学校にもここ2、3年で入るとか入らないとか。入れば入ったで、結局担当の教師が苦勞するのは目に見えていますし、なければなくていっこうに困らないので、大抵の先生は「学校にコンピューターが欲しい!」などとほやほや言わないのです。コンピューターが入って便利になるころには転勤だしね。そういった面とか考えると、Macは学校にオススメのコンピューターなんですよ。どなたか教育委員会に関係があったら、「ぜひMacを…」と。そしてまず現場の先生も混ぜて「ほら、こんなに簡単で、こんなこともできますよ」とデモをしましょう!



なんだか支離滅裂な話になってしまいました。現在、主に趣味と学級事務と教材(学習プリント)作成と音楽(MIDI)とに使っています。

将来はMacを(有効に)使った授業をしてみたいというのが夢ですね。

P.S.みなさん、あたたかくなったらツーリングに行きませんか?

# 私の Mac Life

近藤 英一 (テレビ岩手制作部)

平成5年、もちろん酉年。大空にはぼたき、ついでに去年のいやな思いを払い落して、どこまでも舞い上がる、そんな年にしたいと、誰もが思うはずで。と言うことで、毎年、干支にちなんで、今年こそいい年でありたいと、何とかこじつけて名文句を作っています。



**そ**こで、酉に因んだ故事・諺をひもといてみましょう。まず「鳥の両翼車の車輪」です。これは両方備わって初めて役に立つもの、互いに協力して働かなければならない間柄の例えなのだと思います。「鳥は木を択べども木は鳥を択ばず」鳥にはどの木に止まるか選択する自由があるが、木にはどの鳥を止まらせるかを選択する自由はないと言うことのようにです。主人を選ぶ自由のないまま選ばれた小生のMacはデスクの上にあります。いまだ100%の機能を発揮できないまま一年が過ぎようとしています。

**私**のパソコン(というよりワープロ)の歴史は10年位になります。この話しをするとき私の先輩(入社は同期、年は先輩、そして上司、人生の師として学ぶべき尊敬すべき先輩)照井芳夫さんについて語らなければなりません。この方はテレビ岩手の中核を司る電算機システムを全くゼロから構築した人です。

およそ機械の事なら全ての面で熟知しておりテレビの基礎から建築(社屋)のことまでオールマイティに、ハード面ソフト面に対応します。(通称歩くマニュアル)私も仕事は勿論、アマチュア無線からパソコンの使い方まで同じ事を何度も何度も聞きながら勉強させて頂きました。手始めはNECのN5200でした。仕事で使う経費管理システムのソフトを作って頂き番組制作にかかる経費の計算を電卓からキーボードに変え

て、「入力」を体験しました。併せて本格的なワープロによるビジネス文書の作成、表計算、データベースの使い方まで仕事をかねて(周りからは手で書いた方が早いと言われるながら)イロハを実践で学びました。

**取**りあえずワープロが自由に打てるようになり自宅にCanonのBjワープロを導入、これでOAの仲間入りだと鼻高々でした。(我が社は最先端技術を駆使して放送と言う仕事をしているのに、キーボードアレルギーが多いのです。ゲームは別ですよ)

そんな日々のある日、照井さんのデスクに林檎マークの新しいパソコンがセットされたのであります。見るところではマウス一つで自分の思うが仮に操作できる機械にカルチャーショックを受けました。彼はパーソナルで使うことは勿論ですが、放送で使うCM制作をMacでやることを研究し、可能性を試すために導入したようです。まさに仕事の鬼です。(今それは実現しました。本紙「林檎」で報告されています)

番組の終わりが決っていない放送をするとき、何処でレギュラーの番組に戻るかを指示するプログラムを書いた「放送要領」という文書がありますが、彼はそれをマウスで鮮やかに作っていくのです。もし変更があれば柔軟に対応していくのです。自分もあの世界に近付きたい、でも自分の技量ではちょっと無理とCanonの

Bjワープロで仕事を続けました。このマシンも結構機能が豊富で便利なものでした。なにしろ印刷がとても奇麗です。葉書に縦書きで宛名が打てます。書体もバラエティに富んでいます。

**自**分で機械を持って気がついたこと、それは家庭内では使い切れないことでした。所詮はやってみる、作ってみるだけの世界です。家においておけば子供達が、家内が興味をもってOA家族になるかも?との思いは、はかなく消えました。

家族が一言「書いたほうが早い」

**私**はいま番組制作の仕事をしていいますが、番組作りの第一歩は台本書きです。これは昔からB5縦サイズ縦書きと決まっているようで、そのうえに不均衡な割り付けが3段必要です。上段がカメラの動きを指示します。ここは「3C」等と横書きです。中段は出演者の動きや照明、字幕の指示ですが、どっちかと言えば横書きが多いのです。下段は一番多くのスペースを取り、音声つまりコメントのスペースとなり、ここが縦書きです。ワープロでこれらが解決すると飛躍的に仕事はかどるはずで。

とにかく取材したこと、先に決ったものを順序構わず入力しておき後で編集し台本に仕上げていくことが出来ます。私は業界用語で「色物」つまり芸能番組を担当することが多いのですが、例えば、歌番組など出演者が決ったら歌詞だけを先に入力



し後でつなぎの言葉を入力します。手書きではページの割り付けが旨いきません。資料を全部揃えてからとりかかります。CanonのBjワープロは、横に書いたものを縦に印刷することは出来ますしレイアウトも確認することが出来ます。結構使い勝手は良かったですよ。台本というものは、文章に内容はなくとも開いたときに場面のイメージが伝わればいいのです。勿論、これは「色物」の台本に限ったことで、他の種類の番組ではこんな事はありませんのでお断りしておきます。

**所**定の原稿用紙にCanonのBjワープロで台本を書ける迄になりましたが、縦横混在の台本作りをもう少し深めたい。そんな時、先に紹介した我が師匠「歩くマニュアル」から朗報が聞かされました。それは「ページメーカー」と言うソフトは縦横混在OKだということです。これにはグッときました。是非やってみよう、しかし技術が日々発展する世の中ちょっと待てば機能がアップするだろう、値段が安くなるだろう、その時師匠言わく「それを言ったら何時までも自分の物にならないよ」

どうせ買うなら仕事に楽しさを加えてはかどる機械を購入しよう、個人で買っても仕事に役に立つものをと、選んだのが新発売された「Power Book 140」軽量で車椅子生活の私に取って誠に便利なものです。

**と**て、台本書きですが「ページメーカー」はチョット重いので「カテナのFlash Writer」を使っています。安価で機能が豊富です。縦横混在しなければ理解しにくい所は、フォントを変えて対処しています。まず、使いたい機能をスタイル登録しておきページ変わり毎に指定していきます。これは段組を2段に設定、コラム分割線で区切ります。次に上の段にコーナー（中見出し）を表記する枠

を表作成でつくります。その次の行からは上の段を2段にする為にやはり表作成で横線を引きます。そして下段に降り文章を入力出来るようにタブ設定でパラグラフを決めます。その他よく使う記号、例えば[T]これは登場人物の名前などの「字幕（テロップ）」[Q]これは「動作を開始せよ」の意味ですが、これらすべてのスタイルをショートカットキーにより次々に指定しながら作業をすすめます。この様式はステーションナリーとして登録してあります。

若干難があると言えば制御文字表示機能がないのでパラグラフの様子が見えにくい事ですがこれはバージョンアップを待つことにします。また、ページ番号は任意に指定は出来るのですが、そうした場合、印刷したいページと、表示されているページ数と異なってしまうので換算をする必要があります。

**台**本はB5縦版だと先に申し上げましたが、A4で最初作ります。そして縮小コピーを考え14ポイントで打ち込みます。このソフトには袋綴じ印刷という機能はないのでコピーの際、両面印刷でB5に縮小します。ですから紙の節約にもなりますし、二つ折りにする手間も省いています。用紙は5<sup>1/4</sup>リヤを使っています。後でカット割り（カメラの切り替えタイミングを表示する線）の縦線を引きやすくするほか、たりないものを記入するためです。（時間の表示は斜めに書かなければなりません）

**以**上簡単にワープロ台本について書きましたが、まとめてみますと以下のようになります。

まず表紙は「Flash Writer」で縦書きです。次の「出演者」はマックライトで横書き、これの基はファイルメーカーのデータベースからのデータ転送です。制作スケジュールとス

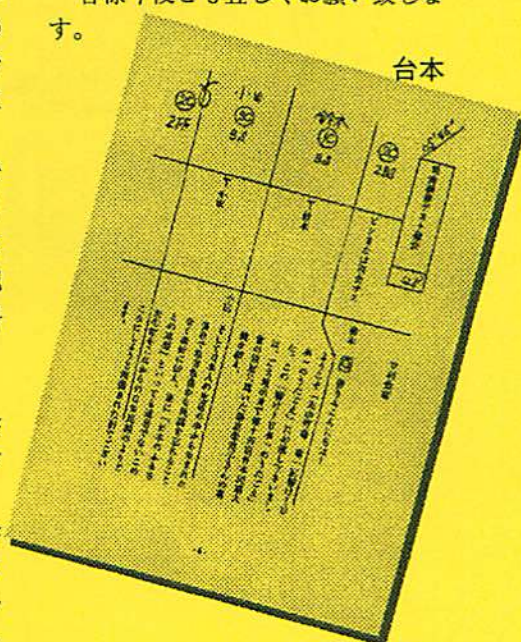
タッフ表はエクセルの表機能を利用します。（どなたかエクセルの表にテキストを均等に入力する方法を御存知ありませんか）

コーナー毎の時間をプラスした経過時間はエクセルの時間計算を利用しています。今後の目標はセット図を台本の中に取り込みたい事でありませぬ。

**私**はまだソフトをマシンにインストールする方法等を理解していません。マウスを動かしてキーボードを押し、入力しか出来ませぬ。

**主**人を選べないMacがデスクに来て以来1年まだまだ勉強の毎日です。Macが「早くなんとかなれ」といっています。皆さんが理解しにくい事を書いてしまいました。恥ずかしいことです。当面の私の目標はキーボードアレルギーを治すMac菌を社内にはば蒔くことです。どの程度の効き目があるか疑問ですが、取り敢えずMac用にインシャライズしたFDを配り始めました。師匠の「歩くマニュアル」は当分休めそうにはありません。

皆様今後とも宜しくお願い致します。



---

# 林檎ギャラリー



1992-11.Masao..Segawa

by瀬川昌男

# 編集後記

初めて編集に参加させていただきました。  
MacExpoにも初めて行ってました。うーん。  
鱈沢佐藤



今回の林檎はお蔭様で大変スムーズに作り  
終わった感じです。  
また、Appleから励ましを頂き、心から感謝  
申し上げます。

徳富 巨



今回のマックワールドは残念ながら行けま  
せんでした。年に一度お会いして無沙汰を  
詫げる機会を逸しましたので心残りです  
が、まあ、こんな年もあるのでしょうか。

野村

今回は編集作業から解放されていたはず  
なのですが、なぜか編集しまいました。  
ふっふっふっ。  
工藤



今回ページが少ない事に気がつかず印刷  
の時間違うところでした。

アブナイ アブナイ 杉村



編集委員の皆様ご苦労さんでした。



# 会員名簿

青山	真紀子	盛岡市	瀬川	昌男	盛岡市
浅田	昌稔	北上市	関口	厚光	盛岡市
野野	恵治	仙台市	平	靖夫	盛岡市
安保	淳一	盛岡市	高島	浩一郎	盛岡市
池田	学	久慈市	高橋	和良	盛岡市
石田	宏	盛岡市	高橋	晃	盛岡市
伊藤	光司	花巻市	高橋	浩幸	盛岡市
井上	督	盛岡市	高橋	真知子	盛岡市
遠藤	幹也	盛岡市	武元	伸次	盛岡市
大河原	清	盛岡市	田辺	忠輝	盛岡市
大塚	英幸	盛岡市	谷口	和美	盛岡市
沖野	覚	二戸市	田村	真智子	盛岡市
小野寺	世利子	宮城県本吉町	千塚	雅之	盛岡市
小野寺	雄大	陸前高田市	塚野	弘明	盛岡市
加瀬谷	明彦	花巻市	妻野	万里子	盛岡市
桂川	茂己	盛岡市	寺田	明功	弘前市
金浜	誠一	二戸市	照井	芳夫人	花巻市
兼平	信一	盛岡市	遠山	明人	盛岡市
鎌田	五百枝	盛岡市	徳富	巨	花巻市
神	達宏	盛岡市	苔米	地怜	八戸市
上山	輝	盛岡市	豊間	根道	盛岡市
菅野	研一	宮古市	中居	賢司	盛岡市
木村	栄子	盛岡市	水澤	幸雄	盛岡市
工藤	聡	滝沢村	長土	正純	盛岡市
工藤	悦也	盛岡市	中村	良行	盛岡市
熊谷	朋也	盛岡市	中西	島光	盛岡市
香城	孝行	久慈市	根本	村行	札幌市
河野	勝夫	盛岡市	野村	行憲	盛岡市
小松	寿英	北上市	深沢	田誠	盛岡市
近藤	藤岳	盛岡市	福藤	健次	盛岡市
斎藤	秀一	盛岡市	藤澤	義直	盛岡市
佐々木	明宏	盛岡市	藤村	直洋	盛岡市
佐々木	幸司	盛岡市	藤村	洋	盛岡市
佐々木	健	岩泉町	米谷	則美	盛岡市
佐々木	治男	矢巾町	三浦	利章	浄法寺町
佐々木	光夫	大槌町	三浦	吉範	盛岡市
佐々木	吉則	盛岡市	宮	義裕	矢巾町
佐藤	顕子	仙台市	村上	宏文	盛岡市
佐藤	雅	盛岡市	村上	弘行	盛岡市
佐藤	学	宮守村	村川	寿	盛岡市
佐藤	護人	盛岡市	村望	月善	柏市
渋谷	芳和	盛岡市	本館	康司	盛岡市
島貫	石隆	新潟県	森	真成	盛岡市
菅原	健蔵	盛岡市	八重	樫祐	盛岡市
菅原	村一	盛岡市	山本	田淳	盛岡市
杉村	村秀	盛岡市	横手	登	盛岡市
杉村	木卓	盛岡市	横手	新	盛岡市
鈴鈴	裕之	石鳥谷町	吉田	二志	盛岡市
鈴		盛岡市	渡		能代市

## 例会案内

3月13日(土)

14:00 開場

15:00 例会

17:30 解散

場所: 盛岡市中央公民館

## 分科会案内

ビギナー分科会

毎月第一土曜日

時間: 2:00~5:00

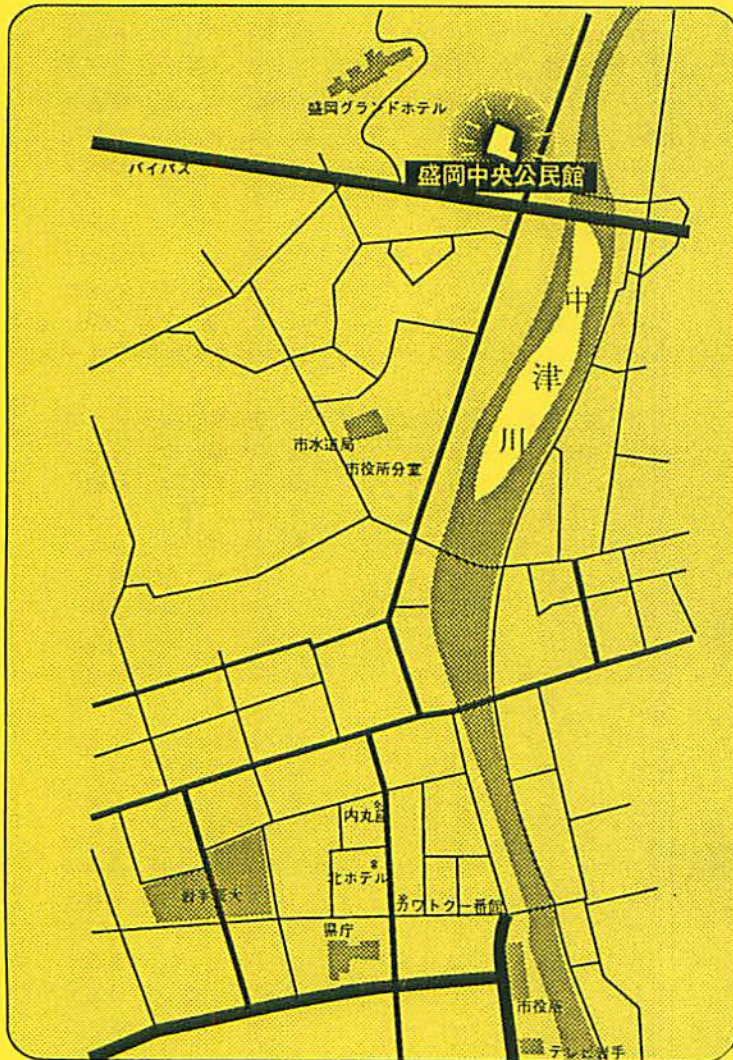
場所: ジュニア英語会

盛岡市天昌寺町9-20

連絡先: 0196-47-7185

例会の後で、場所を変えて編集会議を行います。

お時間のある方と一緒にしませんか?



「林檎」25号は...

ASLTalk	ByWord
Color Magician	Digital Darkroom
EG-Bridge	EG-Word
Freehand	Illustrator
MacPaint	MacVJE
MacWrite	NinjaTerm
NISUS	PageMaker
PhotoShop	QuarkXPress
SoloWiter	StreamLine
SuperPaint	

等で作ったものをPageMakerでまとめLaserWriter, Microlineでプリントしました。

1993/2/20 第25号

発行 岩手Mac友の会

代表 野村行憲

020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品